

雄勝地区

5月9日(日)、雄勝公民館で第46回宮城県消防操法大会に出場する雄勝消防団の結団式が行われました。
式では、選手11人を代表し、末永雄一さんが「伝統と名誉ある消防団員として優勝の栄冠を勝ち取ります」と誓いました。
同消防団の出場は、平成6年に続き、輪番制で石巻地方2市1町の代表として臨み、優勝を目指し、翌日から6日間にわたる訓練に入りました。県大会は8月1日に大崎市で開催され、県下8チームが出場します。

雄勝消防団が県大会出場！



河北地区

上品山牧場に雌牛放牧開始



5月7日(金)、河北上品山牧場に、市内畜産農家から繁殖牛(黒毛和種)26頭が放牧されました。
この放牧は、雌牛が元気な仔牛を生むために、ストレス解消や健康増進、体力向上などを目的に行われています。
当日は雨に見舞われましたが、雌牛たちが健康チェックを終え、野に放たれた時にはすっかり晴れ上がり、優雅に若草を頬張っていました。
今年是最終的に、35頭の牛が放牧され、11月まで過ごす予定です。
退牧までには受胎して畜舎に戻り、お産する牛も多くなるということです。
元気な仔牛を授かると良いですね！

桃生地区

5月10日(月)、桃生保健センターで今年度一回目の健康サロンが行われました。
今回は、簡単なストレッチやリズム体操をした後に、家庭でも簡単運動ができるゲームなどをお話しながら楽しく行っていました。
毎月1回桃生保健センターを会場にお茶を飲みながら、健康についてお話し合いをしたり、健康体操や健康料理の実習などを行っています。
興味のある方は、ぜひ、参加してみたいかがですか。

みんな楽しく健康を



河南地区

五穀豊穡願い山車練り歩く



4月18日(日)、広刈で河南鹿嶋ばやし山車祭りが行われました。
広刈農業担い手センター前で出陣式を行った後、広刈小学校の児童が奏でるお囃子とともに、山車が五穀豊穡、無病息災、家内安全を願って地区内を練り歩きました。
お囃子は打ちばやし、送りばやし、愛宕ばやし、豊年ばやしの4曲で構成されています。また、今年の山車は、薩長同盟締結の会談をイメージして飾りつけたものでした。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

牡鹿地区

4月24日(土)、金華山で第6回ボランティア植樹が行われました。
この日は晴天に恵まれ、参加したボランティア185人は、金華山が緑の島に戻るようお願いを込めて、クロマツ2千本を0.8haの斜面に次々と植樹していききました。

この活動は、金華山が自然災害や松くい虫、シカの被害により広大な森林が失われてきたことから、平成17年に開始され、これまで850人のボランティアにより約一万本が植樹されました。
これまでに植樹された苗木も順調に成長し、金華山も昔の姿を取り戻しつつあるようです。



よみがえれ緑の島『金華山』

北上地区



第17回南三陸潮騒まつり開催

5月3日(月・祝)～5日(水・祝)までの3日間、神割崎キャンプ場イベント広場において、南三陸潮騒まつりが開催されました。

今年も28団体が出店し、三陸の新鮮な海の幸や農産加工品などが販売されました。なかでも焼きたてのカキやホタテ、アツアツのホタテ汁などが連日人気を集めています。

開催期間中は晴天にも恵まれ、おまつり会場から神割崎まで地域ガイドが案内する「汐風ウォーキング」も大好評となり、訪れた人たちは新緑の中で過ごす休日に大満足となったようです。

石巻地区

5月2日(日)～4日(火・祝)、石巻駅前で駅頭案内が行われました。
案内は、「石巻観光ボランティア協会(齋藤敏子会長)が主体となり、毎年行っているもので、ゴールデンウィークを利用して石巻にきた観光客に対して、観光の見どころ、食事処の紹介、交通アクセスなどの案内を「おもてなしの心」で行っていました。

訪れた観光客の中には、北海道や福岡などからの方もおり、3日間で、588人の方が利用しました。

協会の皆さんは、今後も多くの観光客の方に、おもてなしの心をもって石巻の魅力を紹介していきたいと話していました。



駅頭案内「ようこそ石巻へ」



未来のカーエンジニア

5月7日(金)、市役所5階市民活動ルームで、「こども車博士養成塾」が行われ、石巻管内の小学5、6年生27人が参加しました。

この日は、石巻専修大学理工学部機械工学科山本憲一教授が講師を務め、実際に車のエンジンをを使い、その仕組みなどを説明すると、子ども達は、目を輝かせて興味深くエンジンをのぞき込んでいました。

この養成塾は、石巻専修大学が、子ども達に自動車や自動車関連技術に興味をもってもらうために新しい市役所を利用したサテライトキャンパスとして企画したもので、7月まで4回シリーズで行われます。